

入れ歯洗浄剤ポリデント®



一般用医薬品ではありませんが、12月の登録販売者用学習会では対象薬局で取扱いのあるポリデント®をとりあげることにしました。そこで得た若干の知識の紹介になります。

1) ポリデント®の種類と対象

実際にはいくつかの銘柄がありますが、私が関与する薬局では「酵素入りポリデント®」と「部分入れ歯用ポリデント®」の2種類しか取扱いがないので、この2製品に絞った話題になります。これらの違いは対象が金属部分のない総入れ歯か金属部分のある部分入れ歯かになり目的は以下のとおりです。

酵素入りポリデント：総入れ歯用 **部分入れ歯用ポリデント**：部分入れ歯と歯列矯正金具用

説明では「酵素入りポリデント」で部分入れ歯を洗浄すると金属部分の変色しやいためとされています。酵素が入っていると金属部分の変色しやすくなるのだなと商品名だけを見ると思ってしまうのですが、成分表を見ると2製品ともに「酵素」が入っています。つまり酵素が金属部分を変色させるわけではないことが推測できます。では**どの成分が金属部分を変色させるのでしょうか**？

2) ポリデント®の成分の役割表とメーカーさんからの回答からのまとめ

ここでは各役割に利用される細かな成分名は略しますが、含まれている役割成分の有無を○×で下表に示します。両製品間で若干の成分の違いはありますが、効果はほぼ同じと考えてよいでしょう。ここでは右側の後半の網掛け部分の①～④の成分の有無に注目してください。

成分の役割	酵素入り	部分入れ歯	成分の役割	酵素入り	部分入れ歯
発泡剤	○	○	香料	○	○
漂白剤	○	○	色素	○	○
安定化剤	○	○	①酵素	○	○
滑沢剤	○	○	②防錆剤	×	○
漂白活性化剤	○	○	③被膜形成剤	×	○
界面活性剤	○	○	④歯石防止剤	×	○
結合剤	○	○			

①酵素は両製品とも同じ蛋白質分解酵素で、かつ同じ量が配合されています。

②と③は部分入れ歯の金属部分の変色しないように加えられた成分で金属部分の保護に働きます。

④歯石防止剤は部分入れ歯の金属部分と義歯の接合部分に汚れが付きやすいため、そこが歯石になるのを防止するために配合されています。

つまり、部分入れ歯を「酵素入りポリデント®」で洗浄すると、金属を保護する**成分がないので変色しやすくなる**というわけです。他の成分は同じなので洗浄効果は同じになります。おそらく販売過程で最初に「酵素無し洗浄剤」ができ、次に効果増強を狙い「酵素入り洗浄剤」ができた。そして金属付きの部分入れ歯に特化した「酵素入りの部分入れ歯用洗浄剤」ができたのでしょう。「部分入れ歯用」を強調するために「酵素入り」を略したのかもしれませんが、消費者に「酵素入りではないから洗浄力が弱いのではないか」と誤解を与えかねないネーミングだと思ったわけです。 (終わり)